

2019年

257号

10月23日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

「日帰りバス旅行」

お楽しみワインの宴

勝沼

○お楽しみ 未来を語る 年金者

(飛山ますみ)



(水) 9月25日
30分新越谷
駅西口を36
名乗せて定
刻通り出発
実行委員長
の山本副支
部長が「2
名がドクタ
ストップで
不参加、台
風の心配を
したが天気
に恵まれた
ので、楽し
く迷子にならずに帰ってきたい」と。
吉田支部長が、「実行委員の紹介、今
回参加していない妻の様子、今日一日、
楽しく過ごしました」と、挨拶。
今日の予定と参加者名簿、感想記入用
紙、多数の歌集を配布。
坂田ともいさんと伊藤富子さんから頂
いたお菓子も配られた。
東北道浦和から高速道路に。自己紹介
と話したい人は話して下さいと全員発言。

途中から吉田正美副支部長の司会で歌
集にのっている曲を合唱し、楽しい時を
すごす。予定より早く一宮御坂ICを降
り宝石庭園を見学、響きの里で食事。和
太鼓演奏は席が舞台から距離があり、あ
まり迫力が感じられなかった。伊藤一弘
さんにビールをご馳走になった。伊藤一弘
さん。ありがたうございました。「昼ご
はん美味しかった」、「食事もたっぷり」
「食事の鍋にはひとつでよい、ほうとう
おいしかった」、「部屋が暑かった」、「太
鼓の演奏はがっかりでした」などが感想
でした。
次はワイン工場・シャトー勝沼の見学、
試飲「ワインの試飲もとてもおいしくて
よかったです」。時間も十分あり、沢山頂き
ました。バス出発まで山の景色を楽しみ、
南アルプス、甲斐駒見、若いころの登
山の思い出、感激しました。ぶどう畑
の道を進んで、標高550メートル、少
し高いところにあるぶどうの丘。
私は天空の湯に、露天風呂の眺めは最
高。真下にぶどう畑が広がる甲府盆地、
中央線が走り、遠くに山並み、右手に秩
父の山、「金峰山はどれかなー」、中央
少し左奥に南アルプスの山々がハッキリ
と見え、「紅葉も綺麗なのかなー」と時
間ぎりぎりまで堪能しました。
瀬川さんと松崎さんがゆで卵を40個以
上も作って来て頂きありがたいございま
した。帰りのバスは楽しい合唱になり、
「いつもマイクをつかって、休む暇がな
い」という意見もありました。天気に恵
まれて気持ちよいバス旅行でした。(川原)

年金者組合に入りませんか

支部長・吉田健治

越谷の高齢者人口は8万6千人をこえています。人口比で28%です。
いま高齢者抜きでは行政は語れません。
現在市内4ヶ所の老人センターの利用者は減少してきています(交通便、本数の少な
さ、又一部有料、免許返上者)。消費税の増税、物価の値上げで、高齢者の外出は減少
しています。生活は益々苦しくなっています。ひとりぼっちの高齢者が増えている中、ひと
りぼっちが一人でもなくなるよう、友人、知人に組合に入るように呼びかけて下さい。
クラブ活動、誕生会、旅行等、組合の楽しみ7分を全面に出して10月、11月、12月
上旬までの仲間づくり「月間を成功させて下さい。年金者組合に入りませんか。目標は10名です。
私達といっしょにこれからの人生を楽しみませんか」。

点 睛

核兵器廃絶まであと18ヶ国

「バクシヤ国際署名」

越谷原水協の活動の一環として、毎月
9日に『ヒバクシヤ国際署名』を行って
いる。その目的は、「被爆者は、すみや
かな核兵器廃絶を願う、核兵器を禁止し
廃絶する条約を結ぶことを、すべての国
に求めます。」との冒頭の分に端的に示
されている。2017年7月に122ヶ
国の国の賛成で採決された「核兵器禁止
条約」の署名は79カ国、批准は32カ国と
なり、同条約の発効に必要な批准まで
と18ヶ国と迫っている。
ゆるやかに進められているが、世界は廃絶の
方向に歩みを進めている。
しかし、唯一の被爆国で、数十万の人
びとが無差別に殺傷された日本は、同条
約には調印も批准もしていない。地球上
では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のな
い人々が命を奪われ、核兵器を脅迫に使
たり、新たな核兵器を開発する動きもあ
る。現存する1万数千発の核兵器の破壊
力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍
にも及び、地球を「死の星」にする悪魔
の兵器であると言われている。
署名をしていると様々な出会いがある。
時間は夕方の一時間なので、勤め人は足
早に流れ去る。中年は無関心を装いつ
つ、内心は葛藤しているようで、うつむ
きかげんで行き過ぎる。寒くて署名板を
持つ手がかじかむ時や、体調が悪くて足
が棒になることもあるが、そんな時「六
九行動ですね、ご苦労様」などと声が
けされると気持ち暖かくなり励まされ
る。「こんな事ムダだろ!」と毒づくお
じさんもいるが、柳に風で取り合わない。
署名がゼロという日はめったにない。
行動しなければゼロである。何もしない
のは現状維持ではなく後退なのではない
か。私たちが何もしないであきらめるこ
とを待っている人たちがいる。「微力だ
が無力ではない!」と心につぶやき、こ
れからも駅頭に立ちつづける。(広瀬)

次回の宣伝行動 11月20日(水曜日) 12時～13時 南越谷南口